

平成 28 年度 通常総会資料

(平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日)

公益社団法人 日本磁気学会

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-8-11

東京 YWCA 会館 207 号室

電話 (03)5281-0106, メール msj@bj.wakwak.com

通常総会議事予定

<配布資料>

1. 議事予定
2. 通常総会資料

<通常総会議事>

- 第1号議案 定款の改訂について
- 第2号議案 平成28年度（自平成28年4月1日至平成29年3月31日）
事業報告に関する件
- 第3号議案 平成28年度（自平成28年4月1日至平成28年3月31日）
収支決算報告に関する件
- 第4号議案 平成29年度事業計画に関する件
- 第5号議案 平成29年度収支予算に関する件
- 第6号議案 名誉会員の推薦に関する件
- 第7号議案 平成29・30年度役員の推薦に関する件
- その他 報告事項

以上

第1号議案 定款の改訂について

定款の改訂

新 (下線部分が変更点)	旧
<p>(議 長) 第37条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。 2 <u>会長に事故ある場合には、理事会規定により代行者を定める。</u></p>	<p>(議 長) 第37条 理事会の議長は、会長がこれに当たる。</p>
<p>(事業計画及び収支予算) 第47条 この法人の事業計画書及び収支予算書等は、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、理事会の決議を経て、<u>定時総会</u>に報告するものとする。これを変更する場合も、同様とする。 2 前項の事業計画書及び収支予算書等（事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類）については、毎事業年度の開始の日の前日までに行政庁に提出しなければならない。</p>	<p>(事業計画及び収支予算) 第47条 この法人の事業計画書及び収支予算書等は、毎事業年度の開始の日の前日までに会長が作成し、理事会の決議を経て、<u>直近の総会</u>に報告するものとする。これを変更する場合も、同様とする。 2 前項の事業計画書及び収支予算書等（事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みを記載した書類）については、毎事業年度の開始の日の前日までに行政庁に提出しなければならない。</p>
<p>(事業報告及び決算) 第48条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書、財産目録を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経た上で、<u>定時総会</u>において<u>報告するものとする</u>。 2 前項の財産目録等については、毎事業年度の経過後3ヶ月以内に行政庁に提出しなければならない。 3 この法人は、第1項の定時総会の終結後直ちに、法令の定めるところにより、事業報告書および収支計算書などを、主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。</p>	<p>(事業報告及び決算) 第48条 この法人の事業報告及び決算については、毎事業年度終了後、会長が事業報告書及び計算書類並びにこれらの付属明細書、財産目録を作成し、監事の監査を受け、理事会の承認を経た上で、<u>定時総会</u>において<u>承認を得るものとする</u>。 2 前項の財産目録等については、毎事業年度の経過後3ヶ月以内に行政庁に提出しなければならない。 3 この法人は、第1項の定時総会の終結後直ちに、法令の定めるところにより、事業報告書および収支計算書などを、主たる事務所に5年間備え置き、一般の閲覧に供するものとする。</p>

第2号議案 平成28年(2016年)度事業報告に関する件

(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

本年度は、J.Magn.Soc.Jpn 電子化、学術講演会概要集 Web 配信および創立40周年記念事業(JMSJ、まぐね 既発刊冊子のDVD製作、販売)を推進するとともに、長年の懸案事項であった磁気便覧出版による著作権収入などにより財務状況を大きく改善する事が出来た。

第4回岩崎コンファレンスを「医工学とビッグデータが拓く医療の未来」とのテーマで平成28年5月16,17日に開催した。

I 事業の状況

1. 1 学術講演会及びシンポジウム

本年度は、研究成果の発表・討論の場として第40回学術講演会を主催した。

第40回学術講演会

期日：平成28年9月5日(月)～8日(木)

会場：金沢大学角間キャンパス(石川県)

大会実行委員長：山田外史(金沢大学)

講演件数：310件

セッション数：65

参加者：560名

シンポジウムの公募を一般から広く集うとともに、非会員にも登壇を認めることで、多くの参加者を得た。

“Latest trends in ultra-low power consumption spintronic devices and circuits”

参加者：90名

“Ultrafast optical study of magnetic materials” 参加者：35名

“Magnetic materials research by materials informatics” 参加者：55名

“Advance and development of photo magnonics” 参加者：80名

“Research trends in permanent magnet motors and permanent magnets from marginally hard magnetic phases” 参加者：75名

“Recent progress in spin-dependent transport phenomena and devices” 参加者：100名

“Recent Progress in Magnetic Alignment Techniques” 参加者：20名

“IEEJ-MSJ Joint Symposium on research trends in permanent magnet motors and permanent magnets” 参加者：100名

1. 2 研究会

第208回から212回までの5回の研究会を下記の通り開催した。

1) 第208回研究会/第56回化合物新磁性材料専門研究会

「スピントロニクスにおける次世代材料開発」

期日：平成28年6月9日(木)

会場：中央大学駿河台記念館(東京都)

参加者：41名

2) 第209回研究会

「反強磁性が拓くマグネティクスの新展開」

期日：平成 28 年 10 月 21 日(金)

会場：中央大学駿河台記念館（東京都）

参加者：43 名

3) 第 2 1 0 回研究会/第 7 3 回ナノマグネティクス専門研究会

「スピンの可視化とその操作」

期日：平成 28 年 11 月 18 日(金)

会場：中央大学駿河台記念館（東京都）

参加者：32 名

4) 第 2 1 1 回研究会/第 6 3 回磁気工学専門研究会

「医療と磁気の現状と将来展望」

期日：平成 29 年 1 月 27 日(金)

会場：中央大学駿河台記念館（東京都）

参加者：39 名

5) 第 2 1 2 回研究会

「高周波用磁気デバイス・材料・評価技術の現状と新展開」

期日：平成 29 年 2 月 21 日(火)

会場：中央大学駿河台記念館（東京都）

参加者：42 名

1. 3 講習会、公開講座

初等磁気工学講座、サマースクール、公開講演会を開催した。

初等磁気工学講座、サマースクールは学術講演会日程に合わせて開催、参加者の便宜を図った。

第 2 1 回初等磁気工学講座

期日：平成 28 年 9 月 8 日(木)

会場：金沢大学角間キャンパス（石川県）

参加者：17 名

第 3 9 回サマースクール

期日：平成 28 年 9 月 9 日(金)～10 日(土)

会場：金沢大学角間キャンパス（石川県）

参加者：39 名

第 2 3 回公開講演会「磁石の不思議な世界—聞いて、さわって、体験しよう—」

期日：平成 28 年 9 月 4 日(日)

会場：金沢大学サテライト・プラザ

参加者：児童 37 名

第 2 4 回公開講演会「磁石の不思議な世界—聞いて、さわって、体験しよう—」

期日：平成 29 年 3 月 25 日(土)

会場：台東区民会館

参加者：児童 26 名

1. 4 専門研究会

本年度はナノマグネティクス専門研究会、光機能磁性デバイス・磁性材料専門研究

会、スピンエレクトロニクス専門研究会、化合物新磁性材料専門研究会、磁気工学専門研究会、強磁場応用専門研究会、エネルギーマグネティックス専門研究会、新規の超高感度マイクロ磁気センサ専門研究会を下記の通り開催した。専門研究会間の交流・活性化を目的として、今年度も専門研究会幹事会を開催した。化合物新磁性専門研究会では、2会場をテレビ会議でつなぎ、多くの参加者を得た。

1) ナノマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第70回	成28年 5月27日	日本大学理工学部駿河台キャンパス	14名
第71回	平成28年 7月15日	日本大学理工学部駿河台キャンパス	25名
第72回	平成28年10月20日	九州大学西新プラザ	44名
第73回	平成28年12月 2日	中央大学駿河台記念館	32名
第74回	平成28年12月 2日	東京大学理学部	25名

2) 磁気工学専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第60回	平成28年 7月29日	東京工業大学田町キャンパス	5名
第61回	平成28年 9月 8日	名古屋大学（学術講演会A会場）	45名
第62回	平成28年11月18日	東京工業大学田町キャンパス	11名
第63回	平成29年 1月27日	中央大学駿河台記念館	39名

3) スピンエレクトロニクス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第59回	平成28年 7月 8日	産業技術総合研究所 第2事業所本館	33名
第60回	平成28年 9月 6日	金沢大学角間キャンパス	96名
第61回	平成29年 1月10日	東北大学金属材料研究所	28名
第62回	平成29年 1月13日	京大桂キャンパス	22名
第63回	平成29年 3月31日	日本大学理工学部駿河台キャンパス	26名

4) 化合物新磁性材料専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第56回	平成28年 6月 9日	中央大学駿河台記念館	41名
第57回	平成28年 6月15日	東京大学浅野キャンパス SPring-8 中央管理棟	49名
第58回	平成28年 7月 8日	産業技術総合研究所 第2事業所本館	33名
第59回	平成28年12月 5日	東北大学金属材料研究所 東京大学工学部	22名

5) 強磁場応用専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 38 回	平成 28 年 9 月 7 日	金沢大学角間キャンパス	20 名
第 39 回	平成 29 年 3 月 21 日	大阪大学東京ブランチ	14 名
第 40 回	平成 29 年 3 月 25 日	首都大学東京	8 名
第 41 回	平成 28 年 3 月 27 日	大阪大学	5 名

6) 光機能磁性デバイス・材料専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 28 回	平成 28 年 7 月 27 日	長岡技術科学大額	27 名
第 29 回	平成 28 年 9 月 6 日	金沢大学角間キャンパス	80 名
第 30 回	平成 29 年 1 月 12 日	豊橋技術科学大学	18 名
第 31 回	平成 29 年 1 月 20 日	日本大学	26 名
第 31 回	平成 29 年 3 月 13 日	東京大学本郷キャンパス	21 名

7) エネルギーマグネティックス専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 5 回	平成 28 年 9 月 8 日	金沢大学角間キャンパス	100 名

8) 超高感度マイクロ磁気センサ専門研究会

回数	期日	会場	参加者
第 4 回	平成 28 年 11 月 24 日	名古屋ビジネス・インキュベータ nabi/白金	47 名

2. 学会誌の刊行

Journal of the Magnetism Society of Japan (JMSJ) を 40 巻 3 号より 41 巻 2 号まで計 6 回、また会報誌「まぐね」を 11 巻 2 号より 12 巻 1 号の計 6 回発行した。JMSJ は英文論文に特化し完全電子化した。日本磁気学会論文特集号 (TMSJ) を平成 29 年度に発行する準備を行った。「まぐね」は論説、解説、特集記事、連載講座など寄稿記事を中心に編集した。

2. 1 Journal of the Magnetism Society of Japan

巻-号	発行年月日	内容 (詳細は各号の目次参照)
40-3	平成 28 年 5 月 1 日	論文 6 件
40-4	平成 28 年 7 月 1 日	論文 9 件
40-5	平成 28 年 9 月 1 日	論文 2 件
40-6	平成 28 年 11 月 1 日	論文 1 件
41-1	平成 29 年 1 月 1 日	論文 3 件
41-2	平成 29 年 3 月 1 日	論文 5 件

2. 2 会報誌「まぐね」

巻一号	発行年月日	内容(詳細は各号の目次参照)
11-2	平成 28 年 4 月 1 日	論説「高感度マイクロ磁気センサ (MI センサ) の発明と情報磁気センサ工学の発展」(毛利佳年雄) 特集「平成 27 年度 日本磁気学会受賞者論文」 解説 5 件
11-3	平成 28 年 6 月 1 日	論説「大学の研究・教育、企業の研究・教育」(石井 修) 特集「これから期待されるスピントロニクス磁性材料」 解説 1 件、トピックス 3 件 初等連載講座 1 件 磁気研究よもやま話 1 件
11-4	平成 28 年 8 月 1 日	論説「磁石材料研究開発の産学共創追想」(広沢 哲) 特集「磁気イメージングの新展開」 解説 1 件、トピックス 4 件
11-5	平成 28 年 10 月 1 日	論説「スピントロニクス, 過去, 現在, そして未来 —スピントロニズム?—」(大谷義近) 特集「SiC/GaN パワー半導体の現状と展開」 解説 3 件, トピックス 2 件 初等連載講座 1 件 磁気研究よもやま話 1 件
11-6	平成 28 年 12 月 1 日	特集「日本磁気学会創立 40 周年記念 ～歴代会長・名誉会員による回想録～」 4 件 論説「磁性体中での静磁界の問題 —W. F. Brown の本の紹介」(鈴木良夫) 解説 3 件
12-1	平成 29 年 2 月 1 日	論説「雑感」(井上光輝) 特集「硬磁性膜作製技術の最前線 II」 解説 2 件、トピックス 2 件 磁気研究よもやま話 1 件

3. 研究および調査の実施 (定款 4 条 3 号)

3. 1 電子化の推進

会員サービスの拡大のための技術情報サービスやメールマガジンの充実、Facebook による情報発信サービスを行った。

3. 2 会員獲得のための広報活動強化

各種会合、講演会、展示会などにおける学会広報活動を強化し、ポスターやリニューアルした入会案内パンフレットなどによる会員入会勧誘を積極的に推進した。

3. 3 ホームページの充実

技術情報サービス記事の一部にバナー広告からのリンクを貼った。また、磁気学会ホームページの改良に向け、利用状況の解析を実施した。

4. 研究の奨励及び研究業績の表彰（定款4条4号）

平成28年度学会賞、業績賞、優秀研究賞、論文賞、出版賞、学術奨励賞、学生講演賞、新技術・新製品賞および学会活動貢献賞の表彰を下記の通り行った。

（学会賞、業績賞、優秀研究賞：福永博俊委員長、論文賞、学術奨励賞、出版賞：鈴木良夫委員長、学生講演賞、技術功労賞、新技術・新製品賞：宮本泰敬委員長、学会活動貢献賞：宮本泰敬委員長）

学会賞

深道 和明 氏（東北大学）

「遷移金属基磁性合金の基礎物性研究および機能性材料開発への展開」

業績賞

中谷 亮一 氏（大阪大学）

「電子スピンをを用いた新規磁気デバイスの創生」

優秀研究賞

斉藤 準 氏（秋田大学）

「走査型磁気力顕微鏡の空間高分解能化に関する研究」

塚本 新 氏（日本大学）

「超短パルスレーザーによる超高速磁化応答計測と制御に関する先駆的研究」

関 剛斎 氏（東北大学）

「規則合金スピントロニクスデバイスにおける機能性創出」

論文賞

1. Effect of Si/Fe Composition, Substrate Temperature, and Substrate Orientation on the Structure and Magnetic Properties of Fe-Si Alloy Film」

T. Aida, T. Kawai, M. Ohtake, M. Futamoto, F. Kirino, and N. Inaba

J.Magn.Soc.Jpn., 40, p.95-106

2. Theoretical Investigation on Electronic and Magnetic Structure of FeRh

H. Takahashi, M. Araidai, S. Okada, and K. Shiraishi

J.Magn.Soc.Jpn., 40, p.77-80

3. Increase in High-Frequency Magnetic Fields due to Parallel Coils Added to Applicator for Hyperthermia Therapy

S. Yamada, Y. Ikehata, R. Hayashi, T.Ueno, and M. Kakikawa

J.Magn.Soc.Jpn., 39, p.80-84

出版賞

「ワイヤレス給電技術がわかる本」（オーム社）著者：松木英敏 氏、高橋俊輔 氏
学術奨励賞（内山賞）

岩間 弘樹 氏（東北学院大学）、門間 大樹 氏（秋田大学）、

岡 智絵美 氏（東京工業大学）

学生講演賞（桜井講演賞）

松本 光玄 氏（筑波大学）、森本 凌平 氏（豊橋技科大学）、

向口 昂寿 氏 (岩手大学)、岩城 圭亮 氏 (大阪大学)、
牙 暁瑞 氏 (九州大学)、櫻木 俊輔 氏 (慶應大学)、
吉川 大貴 氏 (日本大学)、山野井 一人 氏 (九州大学)、
熊坂 悠也 氏 (東北大学)、村田 里史 氏 (九州大学)

学会活動貢献賞

芦澤 好人 氏 (日本大学)、佐々木 智生 氏 (TDK)
「企画委員会活動を通じた学会活動の活性化への貢献」
桜田 新哉 氏 (東芝)
「広報委員会活動を通じた学会活動の活性化への貢献」

5. 内外の関連学協会との連絡及び協力 (定款 4 条 5 号)

下記の会合を協賛した (開催日順)。

- 1) トライボロジー会議 2016 春 (一社) 日本トライボロジー学会
オリンピック記念青少年総合センター 2016 年 5 月 23 日(月)~25 日(水)
- 2) 第 14 回スパッタリングおよびプラズマプロセスに関する国際シンポジウム
(一社)日本真空学会
金沢工業大学扇が丘キャンパス 2017 年 7 月 5 日(水)~7 日(金)
- 3) 第 6 回講習会「X 線反射率による薄膜・多層膜の解析」物質・材料研究機構
物質・材料研究機構千現地区 2016 年 8 月 25 日(木)
- 4) 第 35 次モータ技術フォーラム (一社)日本能率協会
住友商事竹橋ビル他 2016 年 9 月~2017 年 3 月
- 5) 第 11 回産業用リニアドライブ国際シンポジウム (一社) 電気学会
大阪工業大学梅田キャンパス 2016 年 9 月 6 日(火)~8 日(金)
- 6) 第 29 回秋季シンポジウム特定セッション 日本セラミックス協会
広島大学(東広島キャンパス) 2016 年 9 月 7 日(水)~9 日(金)
- 7) 2016 年度マイクロメカトロニクス学術講演会 (一社) 日本時計学会
中央大学理工学部 2016 年 9 月 16 日(金)
- 8) 2nd ImPACT International Symposium on Spintronic Memory, Circuit
and Storage JST ImPACT
つくば国際会議場 2016 年 9 月 30 日(金)
- 9) トライボロジー会議 2016 秋 (一社) 日本トライボロジー学会
朱鷺メッセ 2016 年 10 月 12 日(水)~14 日(金)
- 10) International Symposium on Optical Memory 2016 ISOM' 16 組織委員会
京都リサーチパーク 2016 年 10 月 16 日(日)~19 日(水)
- 11) 第 52 回 X 線分析討論会 (公社) 日本分析化学会
筑波大学東京キャンパス文京校舎 2016 年 10 月 26 日(水)~28 日(金)
- 12) 日本希土類学会第 34 回講演会 日本希土類学会
ホテル阪急エキスポパーク 2016 年 11 月 4 日(金)
- 13) 第 1 回 ICMC アジア会議—CSSJ50 周年記念合同国際会議 (公社)低温工学・超伝導学会
金沢歌劇座 2016 年 11 月 7 日(月)~10 日(木)

- | | |
|--|---|
| 14) 第59回自動制御連合講演会
北九州国際会議場 | (一社) 日本機械学会
2016年11月10日(木)~12日(土) |
| 15) 第25回ポリマー材料フォーラム
名古屋国際会議場 | (公社) 高分子学会
2016年11月10日(木)~11日(金) |
| 16) 2016年秋季研究会
中央大学理工学部2号館 | (一社) 日本時計学会
2016年11月18日(金) |
| 17) 第25回MAGDAコンファレンス in 桐生
桐生市民文化会館 | 日本AEM学会
2016年11月24日(木)~25日(金) |
| 18) 第26回RCJ信頼性シンポジウム
産業プラザPIO | (一社) 日本電子部品信頼性センター
2016年11月29日(火)~30日(水) |
| 19) 2016年真空・表面科学合同講演会
名古屋国際会議場 | (一社) 日本真空学会
2016年11月29日(火)~12月1日(木) |
| 20) 磁性流体連合講演会
北海道大学百年記念館 | 磁性流体研究連絡会
2016年12月8日(木) |
| 21) シンポジウム「モバイル'17」
大阪大学人間科学部 | モバイル学会
2017年3月9日(木)~10日(金) |
| 22) 2016年度量子ビームサイエンスフェスタ
つくば国際会議場 | 高エネルギー加速器研究機構
2017年3月14日(火)~15日(水) |
| 23) IIP2017 情報・知能・精密機器部門講演会
東洋大学白山キャンパス | (一社) 日本機械学会
2017年3月14日(火)~15日(水) |

II 処務の概要

1 会議

平成28年4月1日から平成29年3月31日の間に下記の会議を開催した。

1) 総会

本年度は平成28年6月15日に通常総会を行い下記議案が審議され、定款の改訂を除いて原案通り可決された。定款の改訂は必要な定足数に達せず審議未了となった。
通常総会議案：定款の改訂、平成27年度事業報告、平成27年度収支決算報告、平成28年度事業計画、平成28年度収支予算、名誉会員の推薦などの議案が上程された。
報告事項として日本磁気学会の改革について報告された。

2) 顧問会

下記期日に開催した。
平成28年9月6日

3) 理事会

下記期日に開催した。
平成28年4月28日、平成28年7月11日、平成28年11月22日、
平成29年1月16日、平成29年3月13日

4) 諸委員会

総務委員会 4回、 財務委員会 4回、 企画委員会 6回

編集委員会 10回、 広報委員会 2回、 AUMS Council meeting 2回
 学会賞、業績賞、優秀研究賞選考委員会 2回
 論文賞、学術奨励賞（内山賞）選考委員会 2回、
 学生講演賞、新技術・新製品賞、学会活動貢献賞選考委員会 3回（メール審議）
 出版賞選考委員会 2回

5) その他

名誉会員懇談会を平成 27 年 9 月 7 日に、また賛助会員懇談会を平成 27 年 9 月 6 日に開催した。

賛助会員として学会を支えて頂いている企業のうち 5 社を訪問し、インタビューを実施した。各社の社風や業態などを「賛助会員訪問記」にまとめ、学会報まぐね および ホームページに掲載した。賛助会員の貢献に対する本学会の謝意を表す活動として継続実施する。

2 契約に関する事項

契約案件一覧

契約年月日	相手方	契約の内容	期間
平成 28 年 3 月 26 日	韓国磁気学会	相互協力に関する合意	5 年
平成 24 年 4 月 1 日	学協会著作権協議会	複写に関わる権利委託	5 年
平成 24 年 12 月 2 日	台湾磁気技術協会	相互協力に関する合意	5 年
平成 28 年 4 月 1 日	学術情報学研究所	電子図書館サービス	1 年
平成 28 年 4 月 1 日	高垣公認会計士 税理士事務所	決算の監査	1 年
平成 28 年 6 月 25 日	Ms.Joy Waller	日本磁気学会誌英文、リライト	1 年
平成 28 年 6 月 1 日	(株)科学技術社	学会誌の広告に関する代理業務	1 年
平成 28 年 12 月 1 日	(株)国際文献印刷社	日本磁気学会誌印刷	1 年
平成 29 年 3 月 12 日	東京書庫(株)	文書の保管および運搬	1 年
平成 27 年 11 月 30 日	三菱地所リアルエステートサービス	東京 YWCA 会館 事務所の賃貸権	2 年
平成 28 年 1 月 1 日	IEEE	National Society Agreement	3 年
平成 28 年 1 月 1 日	IEEE Magnetic Society	Sister Society Agreement	3 年

会員の異動状況

会員種別	員 数		
	本年度末現在 (平成 29 年 3 月 31 日現在)	前年度末現在 (平成 28 年 3 月 31 日現在)	増減
正会員	1, 457	1, 549	- 92
賛助会員	73	73	± 0
学生会員	409	427	- 18
名誉会員	41	40	+ 1

第3号議案 平成28年度収支決算報告に関する件

貸借対照表

2017年 3月31日現在

単位：円

科 目	当年度	前年度	増減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	16,619	28,115	△ 11,496
普通預金	23,971,604	21,882,707	2,088,897
未収金	983,120	929,170	53,950
前払金	473,560	708,174	△ 234,614
流動資産合計	25,444,903	23,548,166	1,896,737
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	10,000,000	10,000,000	0
基本財産合計	10,000,000	10,000,000	0
(2) 特定資産			
特定預金	46,417,443	46,171,655	245,788
学術奨励特定預金（内山賞・学生講演賞）	2,000,000	2,000,000	0
国際会議準備特定預金	17,009,023	17,009,023	0
事務所充実特定預金	510,790	510,790	0
出版広報特定預金	5,574,448	5,574,448	0
萌芽的研究推進特定預金	19,774,030	20,100,000	△ 325,970
退職給付引当預金	1,549,152	977,394	571,758
特定資産合計	46,417,443	46,171,655	245,788
(3) その他固定資産			
什器備品	1	1	0
電話加入権	134,625	134,625	0
敷金	1,072,500	1,072,500	0
その他固定資産合計	1,207,126	1,207,126	0
固定資産合計	57,624,569	57,378,781	245,788
資産合計	83,069,472	80,926,947	2,142,525
II 負債の部			
1. 流動負債			
前受金	586,500	616,000	△ 29,500
前受会費	6,016,700	7,293,500	△ 1,276,800
預り金	328,559	272,994	55,565
源泉所得税（給）	166,350	193,090	△ 26,740
住民税	50,400	40,000	10,400
社会保険料	94,877	39,904	54,973
雇用保険料	15,911	0	15,911
所得税（報）	1,021	0	1,021
仮受金	11,000	14,000	△ 3,000
賞与引当金	735,750	358,350	377,400
未払金	266,207	246,384	19,823
未払消費税	539,792	299,632	240,160
流動負債合計	8,484,508	9,100,860	△ 616,352
2. 固定負債			
退職給付引当金	1,549,152	977,394	571,758
固定負債合計	1,549,152	977,394	571,758
負債合計	10,033,660	10,078,254	△ 44,594
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
基金	10,000,000	10,000,000	0
寄付金	10,247,317	10,573,287	△ 325,970
指定正味財産合計	20,247,317	20,573,287	△ 325,970
（うち基本財産への充当額）	(10,000,000)	(10,000,000)	(0)
（うち特定財産への充当額）	(10,247,317)	(10,573,287)	(△325,970)
2. 一般正味財産			
（うち特定資産への充当額）	52,788,495	50,275,406	2,513,089
（うち特定資産への充当額）	(34,620,974)	(34,620,974)	0
正味財産合計	73,035,812	70,848,693	2,187,119
負債及び正味財産合計	83,069,472	80,926,947	2,142,525

正味財産増減計算書

2016年 4月 1日から2017年 3月31日まで

単位：円

科 目	当年度	前年度	増減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	5,203	2,807	2,396
基本財産運用益	5,203	2,807	2,396
特定資産運用益	586	8,375	△ 7,789
特定資産運用益	586	8,375	△ 7,789
受取入会金	110,500	138,500	△ 28,000
受取入会金	110,500	138,500	△ 28,000
受取会費	18,490,200	19,390,500	△ 900,300
正会員費収入	13,202,200	13,645,500	△ 443,300
学生会員費収入	838,000	895,000	△ 57,000
賛助会員収入	4,450,000	4,850,000	△ 400,000
事業収益	22,712,512	20,064,856	2,647,656
学術講演会収入	7,190,448	7,336,826	△ 146,378
研究会収入	1,916,000	1,933,950	△ 17,950
講習会収入	1,232,000	2,155,000	△ 923,000
岩崎コンファレンス収入	431,000	0	431,000
専門研究会収入	350,000	404,930	△ 54,930
英文投稿料収入	1,340,000	1,800,000	△ 460,000
和文版權料収入	1,347,210	347,510	999,700
広告料収入	4,320,854	5,786,640	△ 1,465,786
会誌別刷り代収入	110,000	300,000	△ 190,000
40周年記念事業収入	4,475,000	0	4,475,000
受取補助金等	1,700,000	1,100,000	600,000
受取補助金	400,000	400,000	0
受取助成金	1,300,000	700,000	600,000
受取寄付金	335,970	1,241,703	△ 905,733
受取寄付金	10,000	1,241,703	△ 1,231,703
指定正味財産からの振替額	325,970	0	325,970
雑収益	625,209	776,042	△ 150,833
受取利息収入	197	3,542	△ 3,345
雑収入	625,012	772,500	△ 147,488
経常収益計	43,980,180	42,722,783	1,257,397
(2) 経常費用			
① 事業費	37,157,052	40,902,510	△ 3,745,458
雑誌発行費	6,891,513	9,499,925	△ 2,608,412
会誌発行費(まぐね)	6,199,356	6,418,378	△ 219,022
JMSJ英文誌発行費	636,213	3,027,709	△ 2,391,496
電子ジャーナル発行費	55,944	53,838	2,106
ウェブ管理費	546,091	520,884	25,207
ホームページ管理費	546,091	520,884	25,207
研究発表費	9,110,146	9,572,947	△ 462,801
学術講演会開催費	5,340,612	4,629,596	711,016
学術会合費	258,356	340,836	△ 82,480
研究会開催費	1,661,437	2,326,512	△ 665,075
講習会開催費	851,136	1,756,022	△ 904,886
専門研究会費	241,635	519,981	△ 278,346
岩崎コンファレンス開催費	756,970	0	756,970
表彰・奨励費	160,035	198,020	△ 37,985
表彰費	160,035	198,020	△ 37,985
活性化費	571,961	809,542	△ 237,581
支払保険料	59,168	44,990	14,178
会議費	1,613,179	2,063,742	△ 450,563
諸委員会費(企画・編集・表彰)	1,613,179	2,063,742	△ 450,563
40周年記念事業費	2,676,499	0	2,676,499
給与手当	9,472,555	9,000,415	472,140
職員通勤交通費	363,633	403,556	△ 39,923
福利厚生費	22,975	49,950	△ 26,975
法定福利費	954,781	690,708	264,073
派遣費	0	416,431	△ 416,431
什器備品費	15,369	16,783	△ 1,414
消耗品費	84,537	188,132	△ 103,595
印刷費	10,070	104,029	△ 93,959
通信・運搬費	310,015	313,638	△ 3,623
会員データ管理費	272,160	272,175	△ 15
事務所費	2,774,369	5,600,956	△ 2,826,587
賃貸費	2,614,551	5,404,094	△ 2,789,543
リース料	159,818	196,862	△ 37,044
払込手数料	108,127	210,939	△ 102,812
租税公課	453,425	253,959	199,466
雑費	206,167	368,101	△ 161,934
退職給付費用	480,277	277,111	203,166
什器備品減価償却	0	25,577	△ 25,577

科 目	当年度	前年度	増減
②管理費	4,310,039	5,023,584	△ 713,545
給与手当	1,804,296	1,714,365	89,931
職員通勤交通費	69,263	76,868	△ 7,605
福利厚生費	4,376	9,514	△ 5,138
法定福利費	181,863	131,564	50,299
派遣費	0	79,321	△ 79,321
什器備品費	2,927	3,197	△ 270
消耗品費	16,102	35,835	△ 19,733
印刷費	1,918	19,815	△ 17,897
通信・運搬費	59,051	59,741	△ 690
会員データ管理費	51,840	51,843	△ 3
事務所費	528,451	1,066,849	△ 538,398
賃貸費	498,009	1,029,351	△ 531,342
リース料	30,442	37,498	△ 7,056
払込手数料	20,596	40,179	△ 19,583
諸謝金	540,000	540,000	0
租税公課	86,367	48,373	37,994
雑費	39,270	70,115	△ 30,845
会議費	812,238	1,018,350	△ 206,112
総会費	170,487	421,259	△ 250,772
理事会費	424,278	522,990	△ 98,712
諸委員会費（総務・財務・広報）	65,980	74,101	△ 8,121
選挙管理委員会	151,493	0	151,493
退職給付費用	91,481	52,783	38,698
什器備品減価償却費	0	4,872	△ 4,872
經常費用計	41,467,091	45,926,094	△ 4,459,003
当期經常増減額	2,513,089	△ 3,203,311	5,716,400
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
過年度修正			
指定正味財産への振替額	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	2,513,089	△ 3,203,311	5,716,400
一般正味財産期首残高	50,275,406	53,478,717	△ 3,203,311
一般正味財産期末残高	52,788,495	50,275,406	2,513,089
II 指定正味財産増減の部			
受取寄付金	0	750,000	△ 750,000
一般正味財産への振替額	△ 325,970	0	△ 325,970
当期指定正味財産増減額	△ 325,970	750,000	△ 1,075,970
指定正味財産期首残高	20,573,287	19,823,287	750,000
指定正味財産期末残高	20,247,317	20,573,287	△ 325,970
III 正味財産期末残高	73,035,812	70,848,693	2,187,119

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産

法人税法に基づく定額法を採用している。

なお、主な耐用年数は次のとおりである。

什器備品 5年

(2) 引当金の計上基準

①賞与引当金

職員の賞与の支給に備えるため、支給見込額のうち当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

②退職給付引当金

職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき、

当事業年度末において発生していると認められる額を計上している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

科目	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	10,000,000	0	0	10,000,000
小計	10,000,000	0	0	10,000,000
特定資産				
学術奨励特定預金	2,000,000	0	0	2,000,000
国際会議準備特定預金	17,009,023	0	0	17,009,023
事務所充実特定預金	510,790	0	0	510,790
出版広報特定預金	5,574,448	0	0	5,574,448
萌芽的研究推進特定預金	20,100,000	0	325,970	19,774,030
退職給付引当特定預金	977,394	571,758	0	1,549,152
小計	46,171,655	571,758	325,970	46,417,443
合計	56,171,655	1,079,934	325,970	56,417,443

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

科目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
定期預金	10,000,000	10,000,000	0	0
小計	10,000,000	10,000,000	0	0
特定資産				
学術奨励特定預金	2,000,000	1,000,000	1,000,000	0
国際会議準備特定預金	17,009,023	4,573,287	12,435,736	0
事務所充実特定預金	510,790	0	510,790	0
出版広報特定預金	5,574,448	0	5,574,448	0
萌芽的研究推進特定預金	19,774,030	4,674,030	15,100,000	0
退職給付引当特定預金	1,549,152	0	0	1,549,152
小計	46,417,443	10,247,317	34,620,974	1,549,152
合計	56,417,443	20,247,317	34,620,974	1,549,152

5. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	121,800	121,799	1
合計	121,800	121,799	1

6. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次の通りである。

補助金等の名称	交付者	当期首残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金						
科学研究費補助金(研究成果公開促進費)	(独)日本学術振興会	0	400,000	400,000	0	—
助成金						
キャリアアップ助成金	東京都	0	700,000	700,000	0	—
石川県補助金	石川県	0	400,000	400,000	0	—
金沢市助成金	金沢市	0	200,000	200,000	0	—
合計		0	1,700,000	1,700,000	0	

7. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次の通りである。

内容	金額
経常収益への振替額	
目的事業実施による振替額	325,970

財産目録

2017年3月31日現在

単位：円

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的	金額
(流動資産)				
	現金	現金手元有高	運転資金として	16,619
	普通預金	三菱東京UFJ銀行神保町支店	運転資金として	4,406,810
		三井住友銀行神田支店	運転資金として	9,969,508
		みずほ銀行神田支店	運転資金として	1,038,299
		ゆうちょ銀行振替口座	運転資金として	8,549,310
		ゆうちょ銀行通常貯金	運転資金として	7,677
	未収金	投稿料、広告料	当年度に発生した収益で未収のもの	983,120
	前払金	研究会等会場費	平成27年度研究会等会場費等で前払いのもの	473,560
流動資産合計				25,444,903
(固定資産)				
基本財産				
	定期預金	みずほ銀行神田支店		10,000,000
基本財産合計				10,000,000
特定資産				
	学術奨励特定預金(内山賞・学生講演賞)	普通預金(みずほ銀行神田支店)	公益目的事業に必要な活動に使用	2,000,000
	国際会議準備特定預金	普通預金(三井住友銀行神田支店他)	公益目的事業に必要な活動に使用	17,009,023
	事務所充実特定預金	定期預金(みずほ銀行神田支店)	公益目的事業に必要なその他の活動に使用	510,790
	出版広報特定預金	定期貯金他	公益目的事業に必要な活動に使用	5,574,448
	萌芽的研究推進特定預金	普通預金(三井住友銀行神田支店他)	公益目的事業に必要な活動に使用	19,774,030
	退職給付引当預金	普通預金(みずほ銀行神田支店)	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,549,152
特定資産合計				46,417,443
その他固定資産				
	什器備品	パソコン	公益目的事業及び公益目的事業に必要なその他の活動に使用	1
	電話加入権		公益目的事業及び公益目的事業に必要なその他の活動に使用	134,625
	敷金	東京YWCA	公益目的事業及び公益目的事業に必要なその他の活動に使用	1,072,500
その他固定資産合計				1,207,126
固定資産合計				57,624,569
資産合計				83,069,472
(流動負債)				
	前受金	平成29年度入会金・研究会資料予約購読料	平成27年度入会金・研究会資料予約購読料	586,500
	前受会費	平成29年度会費	平成27年度会費	6,016,700
	預り金	源泉所得税、社会保険料	源泉所得税、住民税、社会保険料	328,559
	仮受金	平成28年度会費	平成27年度会費(金額不足分)	11,000
	賞与引当金	平成29年度職員に対する賞与の支払いに備えたもの	平成27年度職員に対する賞与の支払いに備えたもの	735,750
	未払金	「磁石の大研究」執筆料・通信費・社会保険料	「磁石の大研究」執筆料・通信費・社会保険料	266,207
	未払消費税			539,792
流動負債合計				8,484,508
(固定負債)				
	退職給付引当金	職員に対するもの	職員に対する退職金の支払いに備えたもの	1,549,152
固定負債合計				1,549,152
負債合計				10,033,660
正味財産				73,035,812

監査結果報告

平成 29 年 5 月 8 日

監事：鈴木良夫

監事：桐野文良

私たち監事は平成 28 年度における当法人の財産ならびに理事の職務の執行の状況を監査いたしました。その方法および結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法およびその内容

各監事は、監事監査規定に則り理事および職員等と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備につとめるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事および職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査した。

さらに、会計帳簿またはこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る財務諸表（貸借対照表、正味財産増減計算書及び財産目録）並びに収支計算書について監査した。

2. 監査の結果

(1) 理事職務執行の監査結果

理事職務執行に関する不正の行為または法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 財務諸表および収支計算書の監査結果

財務諸表は、当法人の平成 29 年 3 月 31 日現在の財政状態並びに同日に終了した平成 28 年度の正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しており、また収支計算書は、「公益法人会計における内部管理事項について」（平成 17 年 3 月 23 日 公益法人等の指導監督に関する関係省庁連絡会議幹事会申合せ）に従って、当法人の平成 29 年 3 月 31 に終了した平成 28 年度の収支の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

(3) 監査人の意見

1. 理事職務執行について

- ・ 昨年の指摘事項として、理事会で議論となった事項に関して、担当と状況の「見える化」が必要とされていた。これに関連して、本年度は総務担当の提案にて、理事会議事録のなかに、担当理事ごとに、課題と進捗状況を明記するようにした。これにより、各課題が、どの担当の責任であるか明確になり、あいまいなまま忘れ去られてしまうことが回避できるようになった。これは大きな改善点である。

2. 財務諸および収支計算書

- ・ 財務担当の主導で、各部門での収支改善案を求め、それを取り纏めていることは、収支改善が課題であるなか、評価できる。また、40 周年記念の DVD 販売にて新しい収入手段を得たことは、評価する。安定継続できる法人運営体制の早期確立を目指して、会費収入、広告収入、講演会でのランチョンセミナー参加費など、多面的な収入増をはかることを要望する。

以上

独立監査人の監査報告書

平成 29 年 4 月 21 日

公益社団法人 日本磁気学会
会 長 福永 博俊 殿

高垣公認会計士事務所
公認会計士

高垣 宗次郎 

<財務諸表監査>

私は、公益社団法人日本磁気学会の平成 28 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日までの平成 28 年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下、これらの監査の対象書類を「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査を実施することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産及び損益（正味財産増減）の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、公益社団法人日本磁気学会の平成 29 年 3 月 31 日現在の財産目録（「貸借対照表科目」、「金額」及び「使用目的等」の欄に限る。以下同じ。）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して財産目録を作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益社団法人日本磁気学会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

第 4 号議案 平成 29 年度事業計画に関する件

平成 29 年(2017 年)度事業計画 (平成 29 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日)

平成 29 年度も財政的に厳しい状況が継続すると認識し、引き続き会員の拡大や各種イベントへの参加増など収入増に注力しつつ、会員へのサービス向上に努めていく。

特に、本年度は改革に向け下記の 4 点の活動を重点的に進める。

◎学会活動のポイント

- 1) 理事会主導による学会横断的な改革の推進
 - ・副会長担務の明確化
 - ・理事会決定事項の実行責任・過程の見える化
 - ・委員会相互の連携による会員が参加し易い学会活動の推進
- 2) 新分野創出を担う専門研究会の活動の周知
 - ・学会誌への論文投稿の推進
 - ・学術講演会でのセッションの設置
- 3) 学術講演会の公募シンポジウムを充実
 - ・幅広い視点から議論できる場の醸成
- 4) 電子媒体による情報発信の充実
 - ホームページ、Facebook、メールマガジンなどによる情報発信

I 事業の状況

1. 研究発表会、講演会等の開催（定款 4 条 1 号）

1. 1 学術講演会

磁気に関する基礎から応用までの全般にわたる研究成果の発表・討論の場として学術講演会を年度内に 1 回開催する。

本年度は、平成 29 年 9 月 19 日（火）から 22 日（金）まで、九州大学（福岡県福岡市）において第 41 回日本磁気学会学術講演会を開催する。本年度の学術講演会は、これまでと同様に国内外の新しい磁気に関する研究成果をもれなく集め、約 80 セッションを設け、約 500 篇の講演論文を集めて行う予定。学会活性化のための施策として、ランチセミナーや、女性研究者の人脈形成のための交流会の実施も併せて行う予定である。

1. 1. 1 学術講演会におけるシンポジウムの公募

第 41 回日本磁気学会学術講演会で開催予定のシンポジウムを引き続き公募制とする。これにより会員の議論のさらなる活性化を図る。

1. 1. 2 学術講演会における非会員の講演登壇

第 41 回日本磁気学会学術講演会も引き続き非会員による講演登壇を可能とする。非会員であっても登壇料の支払いによって講演を認めることにより投稿数が増加することが期待できる。

1. 1. 3 学術講演会の概要集のウェブ配信化

第 41 回日本磁気学会学術講演会の概要集をウェブ配信化する。並行して、概要集を従来の冊子の形式でも別料金にて事前受付をし、従来のサービスも一部継続する。これらにより会員の便性向上を図る。

1. 1. 4 学術講演会の賛助会員のウェブ登録の実施

第 41 回日本磁気学会学術講演会においても、学術講演会ホームページから賛助会員も事前登録を行えるようにする。賛助会員のウェブ登録の実施は、賛助会員の利便性向上だけでなく、受付業務の簡素化や学術講演会参加者の増加が期待される。

1. 2 研究会

新しく、また興味深い磁気およびその応用を主題とした研究会を、年に 5 回を目安として定期的に開催する。本年度の研究会の開催計画は次のとおりである。

	開催期日	研究会の主題（仮題）
第 213 回	平成 29 年 6 月	エネルギーマグネティクス・磁気センサ
第 214 回	平成 29 年 7 月	強磁場応用
第 215 回	平成 29 年 11 月	化合物磁性
第 216 回	平成 30 年 1 月	スピントロニクス
第 217 回	平成 30 年 3 月	熱電変換材料

1. 3 講習会、公開講演会など

- ・ 「日本磁気学会初等磁気工学講座」と「日本磁気学会サマースクール」を、学術講演会とは別に 6 月に開催する。日本磁気学会初等磁気工学講座は 6 月 6 日（火）に、日本磁気学会サマースクールは 6 月 7 日（水）～ 6 月 9 日（金）に中央大学駿河台記念館で開催する。東京開催にすることで、昨年よりも参加人数の増加が期待できる。
- ・ 青少年を対象に、磁気に関する啓蒙的講座を年 2 回程度開催する。

1. 4 専門研究会

ナノマグネティクス専門研究会、化合物新磁性材料専門研究会、光機能磁性デバイス・材料専門研究会、スピントロニクス専門研究会、強磁場応用専門研究会をそれぞれ年数回開催する。

1. 5 岩崎コンファレンス

磁気センサをテーマとして第 5 回岩崎コンファレンスを 11 月から 12 月を目途に 2 日間の日程で開催する。

2. 学会誌その他の図書の刊行（定款 4 条 2 号）

2. 1 学会誌および学会報の発行

平成 29 年度内に、学会誌「Journal of the Magnetism Society of Japan」を、Vol.41, No.3（通巻第 286 号）から Vol.42, No.2（通巻第 291 号）まで隔月で年度内 6 回発行する他、学会報「まぐね」を Vol.12, No.2（通巻第 99 号）より Vol.13, No.1（通巻第 104 号）まで隔月で年度内 6 回発行する。「Journal of the Magnetism Society of Japan」は英語の原著論文、レビュー論文等磁気の研究を掲載する。今年度から学術講演会での発表を前提とした論文誌「Transactions of the Magnetism Society of Japan (Special Issues)」を年 1～2 回発行する。「まぐね」は特集記事を中心に解説、トピックス、連載講座、磁気研究よもやま話、新製品・新技術などを掲載し、磁気分野の最新情報発信源とする。

2. 2 出版活動の推進

企画委員会、編集委員会が連携して総務委員会主導のもと出版 WG を組織し、出版事業を推進する。平成 29 年度は、教科書シリーズ 1 巻、啓発書シリーズ 2 巻の発行を目指して、原稿の収集、刊行の手続きを進める。

2. 3 Journal of the Magnetics Society of Japan の ISI 取得に向けた取り組み

2020 年に国際会議 IcAUMS が日本で開催される予定であることから、2018 年に Journal of the Magnetics Society of Japan の ISI 申請を目指し、定常的な論文の収集に努めるとともに、レビュー論文、国際会議プロシーディングスを積極的に発行し、活性化をはかる。論文数、引用数を増やすことを目的として以下の取り組みを実施する。

- Review 論文の充実

理事会、各専門研究会と連携し、多くの会員に執筆を依頼し、引用を促す。

委員会より依頼した Review 論文には原稿料を支払う。

学会賞・業績賞・優秀研究賞受賞者によるレビュー論文を掲載する。

- 投稿論文の充実

分野ごとの特集を設け、記事を集める。

専門研究会からの投稿を募る。

投稿論文 50 本を目標に理事会の協力をあおぎ論文緊急対策をおこなう。

- 引用数の拡大

電子ジャーナルの OPEN ACCESS を継続する。

大きなイベントにタイミングを合わせた引用依頼を継続する。

2 年以内に発行された論文の著者と指導教員に最低 2 回の引用をおこなうよう個別に依頼する。

2. 4 電子化した「まぐね」「研究会資料」「学術講演会概要集」DVD

学会創設 40 周年を記念して電子化した「まぐね」「研究会資料」「学術講演会概要集」DVD を引き続き販売する。また日本応用磁気学会誌の電子化についても検討・準備を始める。

3. 研究および調査の実施（定款 4 条 3 号）

3. 1 会員サービスの拡大

ホームページの充実のため、英文の再構築、技術情報サービスに連動したバナー広告掲載や Q&A などのコンテンツの充実、利用状況解析による HP 構成の改良を行う。技術情報サービスやメールマガジンの充実、Facebook の活用を図る。

3. 2 出版物等の広告および会員獲得のための広報活動強化

学術講演会、研究会、専門研究会などにおける学会の広報活動を強化し、パンフレット、ポスターなどによる出版物等の広告と会員入会勧誘を積極的に推進する。

4. 研究の奨励および研究業績の表彰（定款 4 条 4 号）

本年度は学会賞、業績賞、優秀研究賞、論文賞、学術奨励賞（内山賞）、学生講演賞（桜井講演賞）、技術功労賞、学会活動貢献賞、新技術・新製品賞、および出版賞の表彰を行う。

上記に加えて、今年度から学生向けに MSJ 論文奨励賞を設立し、若い研究者の意欲増強を図る。

5. 内外の関連学協会との連絡及び協力（定款4条5号）

米国電気電子学会（IEEE）との National Society Agreement (NSA)及び IEEE Magnetics Society との Sister Society Agreement (SSA)に基づく相互協力を引き続き行う。国内関連学会に加え、韓国磁気学会(KMS)、台湾磁気技術協会(TAMT)、ロシア磁気学会、中国、英国、ドイツ、フランス等の関連学会団体と相互協力および情報交換を行う。国際化委員会では、Asian Union of Magnetics Societies (AUMS)（日本、韓国、中国、台湾、インド）を母体に、アジアでの協調体制確立に努める。AUMS Council Meeting に参加して、AUMS に関連する議案を審議する。

II 会議

この年度に開催する主要な会議である総会、理事会および顧問会は次により実施する。

1. 総会

本年度の通常総会は平成 29 年 6 月 6 日（火）に開催し、平成 28 年度事業報告および収支決算、平成 29 年度事業計画および収支予算などについて審議・議決する。

2. 理事会

本年度の理事会は、原則として 6 回開催し、総会および顧問会への提出議案の作成、総会での決定事項の実施、会務の整備、各事業の充実等について審議する。

3. 顧問会

学術講演会開催時に開催し学会の諸活動に関して会長および理事会に意見を具申する。

4. その他

名誉会員および賛助会員の学会活動に対する意見を集めるため、名誉会員懇談会および賛助会員懇談会をそれぞれ年 1 回開催する。

III 公益法人運営体制の確立について

日本磁気学会の継続的発展を図るために財務体質の改善および会員サービス向上を目指して、理事会主導による学会改革活動を強力に推進する。

本年度の各委員会活動ポイントは下記の通り。

◎活動のポイント

総務委員会：事務効率向上および低コスト化の推進、理事会決定事項の進捗把握と確実な推進

財務委員会：財務状況の逐次把握および健全化の推進

企画委員会：賛助会員を含め会員の参加し易い研究会、学術講演会の開催

編集委員会：学生の論文投稿数の増加、萌芽的論文の積極的採録、学会誌のさらなる国際化

広報委員会：各種媒体による広報活動の充実

国際化委員会：海外学協会との連携強化

第5号議案 平成29年度収支予算に関する件

平成29(2017)年度収支予算(正味財産増減計算書)

単位:円

科 目	平成28年度	平成29年度	増減 (H29-H28)	備考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				配賦比率 70:30(使用割合)
(1) 経常収益				
基本財産運用益	2,000	2,000	0	
特定資産運用益	7,000	7,000	0	
受取会費	19,210,000	18,450,000	△ 760,000	
入会金収入	100,000	100,000	0	
正会員会費収入	13,340,000	12,900,000	△ 440,000	
学生会員会費収入	870,000	800,000	△ 70,000	
賛助会員会費収入	4,900,000	4,650,000	△ 250,000	
事業収入	17,358,000	17,597,832	239,832	
学術講演会収入	7,183,000	7,585,832	402,832	
研究会収入	1,800,000	2,326,000	526,000	研究会資料予約購読料値上げ
岩崎コンファレンス収入	890,000	900,000	10,000	平成29年度 岩崎コンファレンス開催
講習会収入	2,285,000	1,986,000	△ 299,000	初等磁気・サマースクール
専門研究会収入	800,000	0	△ 800,000	
(英文)投稿料収入	1,200,000	1,600,000	400,000	日本磁気学会論文特集号(日本語論文)発行、費目名変更
著作権料収入	200,000	200,000	0	
広告料収入	3,000,000	3,000,000	0	
雑収入	3,253,000	503,000	△ 2,750,000	
受取利息収入	3,000	3,000	0	
雑収入	3,250,000	500,000	△ 2,750,000	例年並み(昨年度は40周年記念事業による収入あり)
経常収益計	39,830,000	36,559,832	△ 3,270,168	
(2) 経常費用				
① 事業費	36,505,607	33,851,276	△ 2,654,331	
雑誌発行費	8,056,000	7,050,000	△ 1,006,000	
会報発行支出(まぐね)	6,310,000	6,310,000	0	
(JMSJ英文)論文発行費	1,436,000	600,000	△ 836,000	費目名変更
電子ジャーナル	310,000	140,000	△ 170,000	
ウェブ管理費	400,000	417,000	17,000	
ホームページ管理費	400,000	417,000	17,000	
研究発表費	11,359,000	10,991,838	△ 367,162	
学術講演会開催	5,750,000	5,335,816	△ 414,184	
学術会合費	600,000	600,000	0	
研究会開催	2,100,000	2,150,000	50,000	1日研究会を開催、開催回数を変更して費用を圧縮
講習会開催	1,200,000	1,756,022	556,022	
岩崎コンファレンス開催	909,000	900,000	△ 9,000	平成27年度 岩崎コンファレンス開催なし
専門研究会開催	800,000	250,000	△ 550,000	
表彰・奨励費	220,000	220,000	0	
表彰費	220,000	220,000	0	
活性化費	450,000	300,000	△ 150,000	
会議費	1,935,333	1,935,333	0	
諸委員会費	1,935,333	1,935,333	0	
40周年記念事業費	1,800,000	0	△ 1,800,000	
給与手当	7,560,000	8,050,000	490,000	4月より正職員1名復帰
福利厚生費	630,000	686,000	56,000	
職員通勤交通費	280,000	280,000	0	
退職給付引当費用	400,230	273,080	△ 127,150	
什器備品減価償却	0	0	0	
賞与引当費用	0	515,025	515,025	平成29年度より計上
事務所費	2,305,044	2,268,000	△ 37,044	
賃貸料	2,140,992	2,140,992	0	事務所移転により費用圧縮
リース料	164,052	127,008	△ 37,044	コピー機入れ替えによるリース料減
雑費	175,000	175,000	0	
支払保険料	60,000	60,000	0	
その他費用	875,000	630,000	△ 245,000	

科 目	平成28年度	平成29年度	増減 (H29-H28)	備考
②管理費	7,238,404	7,282,758	44,354	
給与手当	3,240,000	3,450,000	210,000	4月より正職員1名復帰
福利厚生費	270,000	294,000	24,000	
職員通勤交通費	120,000	120,000	0	
通信・運搬費	90,000	75,000	△ 15,000	
消耗品費	60,000	45,000	△ 15,000	
印刷費	15,000	15,000	0	
事務所費	987,876	972,000	△ 15,876	
賃貸料	917,568	917,568	0	
リース料	70,308	54,432	△ 15,876	コピー機入れ変えによるリース料減
諸謝金	525,000	540,000	15,000	
什器備品費	30,000	15,000	△ 15,000	
租税公課	75,000	75,000	0	
雑費	75,000	75,000	0	
払込手数料	105,000	45,000	△ 60,000	年会費振込手数料の会員負担化
会議費	1,150,000	900,000	△ 250,000	
総会費	300,000	300,000	0	
理事会費	500,000	500,000	0	
諸委員会費	100,000	100,000	0	
選挙管理委員費	250,000	0	△ 250,000	平成29年度 役員選挙なし
ウェブ管理費	324,000	324,000	0	
会員データ管理費	324,000	324,000	0	
退職給付引当費用	171,528	117,033	△ 54,495	
什器備品減価償却	0	0	0	
賞与引当金費用	0	220,725	220,725	平成29年度より計上
経常費用計	43,744,011	41,134,034	△ 2,609,977	
当期経常増減額	△ 3,914,011	△ 4,574,202	△ 660,191	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 3,914,011	△ 4,574,202	△ 660,191	
一般正味財産期首残高	35,655,900	31,741,889	△ 3,914,011	
一般正味財産期末残高	31,741,889	27,167,687	△ 4,574,202	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	11,000,000	11,000,000	11,000,000	
指定正味財産期末残高	11,000,000	11,000,000	11,000,000	
III 正味財産期末残高	42,741,889	38,167,687	△ 4,574,202	

第6号議案 名誉会員推薦に関する件

深道 和明 氏 1941年4月3日生まれ

3) 学会賞受賞者で、65歳以上の会員

山崎 二郎 氏 1946年2月27日生まれ

4) 業績賞受賞者で、70歳以上の会員

山内 清隆 氏 1946年8月5日生まれ

2) 前または元副会長で、70歳以上の会員

公益社団法人日本磁気学会 会員規程

(名誉会員の資格)

第5条 2項

- 1) 前または元会長で、65歳以上の会員
- 2) 前または元副会長で、70歳以上の会員
- 3) 学会賞受賞者で、65歳以上の会員
- 4) 業績賞受賞者で、70歳以上の会員
- 5) 磁気分野における業績で文化勲章または文化功労者の顕彰を授けられた会員
- 6) 磁気分野で学士院賞等を授賞し、本学会に功績顕著な者で、65歳以上の会員

第7号議案 平成29・30年度役員の推薦に関する件

公益社団法人日本磁気学会選挙規定に基づき、新役員選挙を実施し平成29年5月2日にその開票を行いました。

開票の結果、理事候補のうち得票数上位15名を、並びに、監事候補のうち2名をそれぞれ、理事候補および監事候補と推薦いたします。

理事候補（定員15名）

氏名（所属）

高梨 弘毅（東北大学）
中川 活二（日本大学）
中村 志保（東芝）
宮本 泰敬（NHK）
新妻 清純（日本大学）
斉藤 好昭（東芝）
中川 茂樹（東京工業大学）
青島 賢一（NHK）
石山 和志（東北大学）
小林 宏一郎（岩手大学）
小野 輝男（京都大学）
伊藤 博介（関西大大学）
サイモン・グリーブス（東北大学）
竹村 泰司（横浜国立大学）
中野 正基（長崎大学）

監事候補（定員2名）

氏名（所属）

鈴木 良夫（日本大学）
中谷 亮一（大阪大学）